

平成 30 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 N E W A R T  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 白 石 幸 生  
 ( J A S D A Q ・ コード 7 6 3 8 )  
 問 合 せ 先 取 締 役 松 橋 英 一  
 電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

### 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成30年2月14日に公表しました平成30年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値について、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 値 と 実 績 値 と の 差 異 ( 平 成 29 年 4 月 1 日 ~ 平 成 30 年 3 月 31 日 )

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 30 年 2 月 14 日 公 表)	百万円 13,650	百万円 560	百万円 560	百万円 33	円 銭 0.10
<b>実績値 (B)</b>	<b>14,320</b>	<b>814</b>	<b>725</b>	<b>94</b>	<b>0.29</b>
増 減 額 (B - A)	670	254	165	61	
増 減 率 ( % )	4.9%	45.4%	29.5%	185.5%	
(前期実績) 平成 29 年 3 月 期	13,556	1,605	1,579	1,094	3.29

#### 【差異の理由】

平成 30 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 に つ き ま し て は、第 4 四 半 期 に お い て アー ト 事 業 及 び ジュエリー事業が好調に推移したため、売上高、営業利益、経常利益ともに前回発表予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、ティアラ等の減損損失を実施したため、特別損失 68 百万円を計上しましたが、上記のとおり営業利益、経常利益ともに改善したため、前回発表予想を上回りました。

以 上

(業績予想に関する留意事項)

本資料における業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化等により実際の業績が異なる可能性があります。